

504 錦町中央大学校舎の建築

〔『法学新報』第28巻7(321)号 大正7年7月1日〕

○錦町中央大学校舎の建築 昨年来種種計画する所ありし新築校舎は本年三月工学士鹿島精一氏(鹿島組)は工事一切を担任することを快諾せられ錦町旧校舎跡に八百余坪の層楼建築に著手し技師小林政吉氏は終日詰切にて熱心に督励し居れば工事大に進捗し去月二十二日を以て上棟式を挙げ来る八月末日竣工すへき筈にして次学年は新校舎に移転して授業を開始するの予定なり